JR守山駅西口で社　会実験を行います

～渋滞緩和に向けた中央横断歩道　（緑地公園側）の一時的な撤去～

問都市計画・交通政策課
TEL・有(582)1132　FAX(582)6947

ピックアップ

昭和48年にＪＲ守山駅西口が現在の位置になってから、ＪＲ守山駅西口ロータリー（以下「ロータリー」という）の面積に大きな変更がないなか、市の人口は右肩上がりに増えており、それに伴い駅利用者も増えていることから、JR守山駅西口では、特に降雨時の通勤通学時間帯の渋滞が課題となっています。

渋滞の要因としては、ロータリーが狭小であることをはじめ、さまざまな要因が考えられるなか、その中の1つであるロータリー内の中央横断歩道（緑地公園側）を一時的に撤去し、その影響を検証する社会実験を実施します。

社会実験の概要

「中央横断歩道（緑地公園側）　※下図」の一時的な撤去を行い、渋滞対策としての効果や、安全性などを検証する社会実験を実施します。

社会実験の期間（予定）

11月18日(月)～12月16日(月)

事前工事

◆対象横断歩道と停止線をマスキングにより仮撤去
◆横断歩道両端にバリケードを設置
※社会実験開始前に上記の工事を実施し、実験終了後には、現状復旧します。

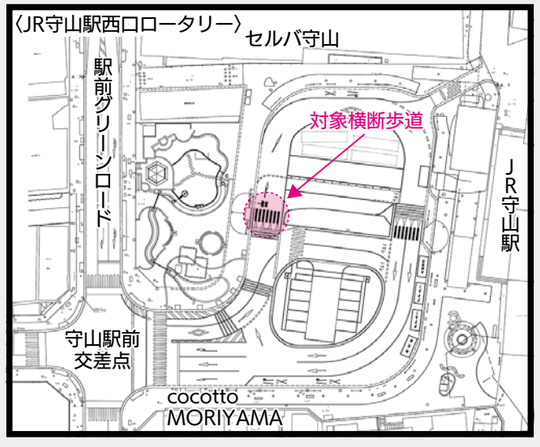
対象横断歩道

安全対策

◆視覚障害者の安全に配慮し、次の対策を実施
・周辺に音声案内機を設置
・付近の点字ブロックを点字ブロックマットにより調整
◆実験開始後一定期間、誘導員を配置

調査内容

実験開始前および実験期間中の数日間は、ロータリー内や駅前交差点の各箇所に調査員を配置し、歩行者通行量や車両渋滞長などを計測します。



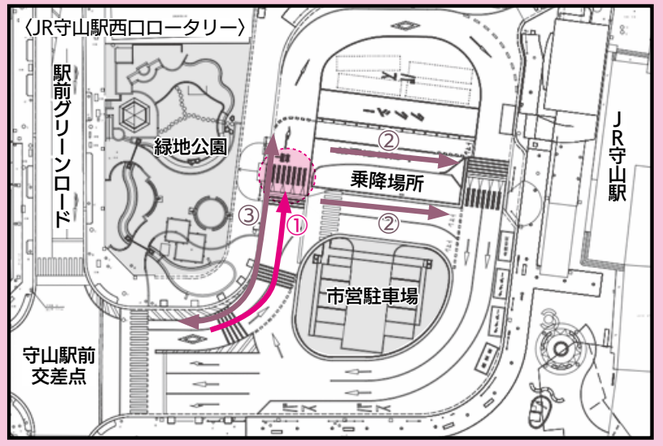
対象横断歩道を利用される人へのお願い

◆実験期間中は、終日、対象横断歩道の利用ができませんので、セルバ守山側またはcocotto MORIYAMA側へ迂回をお願いします。
◆乗降場所は、通常通り利用可能です。
◆車両の通行については、影響はありません。

渋滞の状況

現在のロータリーは、狭小であることをはじめ、さまざまな要因により、特に降雨時の通勤時間帯に渋滞が発生しています。

主な渋滞要因



▲参考写真
ロータリーで、歩行者が横断歩道を渡りきるのをバスが待っている様子です。後続車の列が駅前交差点まで渋滞しています。

①横断歩道の歩行者列待ちにより、前進できない車両が発生している。
②送迎車両が乗降場所付近に集中している。
③停車場所が定まらない"迷い車両"や、不適切箇所での駐車および乗降が発生している。

主に①～③が起因となり、後続車にも影響し、駅前交差点にまで渋滞が伸びている。

今回は、渋滞要因①への対策の検証のため社会実験を実施します。

また、ロータリー内の各機能の配置や有効面積拡大などの検討は、別途行います。